

坂の上通信

令和三年十月二十日
広島市立美鈴が丘高等学校
新聞文化部(四〇三演習室)

復活 体育祭

全校が集う行事 2年ぶり

10月15日(金)、2年ぶりに体育祭が開催された。昨年度は学年別に行う「体育大会」だったが、今年度はグラウンドに全学年が集う。全校が一同に集う大規模行事は、2年ぶりとなる。

全学年での実施となった体育祭だが、感染防止のため無観客で行われた。例年保護者席となるテントは全て生徒席となり、密を避けるために1クラスにつき2つのテントが使用さ

れた。去年とは違い他学年がいた事で応援の声も大きく、白熱した戦いが繰り広げられた。体育祭の責任者を務めた体育科の林先生は「招集や入退場門をなく

し、自ら判断して入退場するようにしたこと」で移動が素早くできた。今年度は規模を縮小して開催したが、楽しんで一生懸命に取り組めたと思うとコメントした。



思い思いの浴衣を着て「大広島音頭」や「美鈴音頭」などを踊る3年生

グラウンドに歓声わく

1年生のテントでは種目の直前に円陣が組まれる様子が見られ、練習を通してよりクラス内の絆が深まったことをうかがわれた。綱引きでは、間近でクラスへの応援をする担任の先生の姿もあった。2年生は目玉となる創作ダンスを中心に、

最終楽しそうな雰囲気だった。各クラス苦心して作り上げたダンスだけに、自分たちが楽しく踊るのはもちろんのこと、他クラスの演技もすっかりと観戦し、楽しんでいった。閉会式では表彰も行われ、トップバッターを務めた2年5組が優秀賞を獲得した。3年生は、毎年恒例

種目	1年生	2年生	3年生
クラス対抗リレー	1組	2組	5組
ダンス	****	5組	****
大縄跳び	2組 61回	****	6組 101回
部活動対抗リレー	男子 女子	野球部 陸上部	

各学年に話を聞いたところ、2年生は「昨年の体育大会は学年だけで、規模を縮小したもののしか出来なかったが、今年は学校全体で体育祭ができ、とても嬉しかった」という声、また1年生からは「初めての体育祭で、コロナ禍の中ではあったが精一杯楽しめた」という声が聞かれた。

優勝は紅組

紅組団長の話

今年紅組が勝利を収めた。団長は3年6組の西村采さん。西村さんは「優勝することができ、嬉しく思います。開会式では団長として堂々とした態度で臨むよう意識しました。コロナ流行によって今までたくさん行事が中止になって悲しかったけれど、高校生活最後の体育祭を楽しみたいと考えてよかった」と語り、顔をほころばせた。

美・鈴・鈴・鈴

美高では2年ぶりに全校生徒が集う行事が開催された。新型コロナウイルスの流行以来、これまでほとんどの行事が中止も行われてきた。久々の行事に、生徒の表情はいつもより生き生きとしていたように見える。無観客とはいえ、まずは開催できたことを喜びたい。▼最近新規感染者も減少してきている。理由ははっきりとは分からないそうだが、ワクチン摂取率の上昇や、緊急事態宣言の人流抑制が、一定程度の効果をもたらしたと考えてよいだろう。

▼だが、油断はできない。これまでコロナの流行はおおむね3回、4か月周期で訪れているという。次も同様だとすれば、12月から1月頃が次のピークになる。▼3年生には勝負の時期でもあるし、2年生にも修学旅行など大きな行事が控えている。黙食、手指消毒など基本的な感染予防対策を続け「できる範囲の最大限」で高校生活を送りたい。

(丸吉千香子)

編集後記

久しぶりの全校行事。暑い日でしたが、しっかり盛り上がる事ができました。



各クラスとも特色あるダンスを披露した2年生(上)と、初めての体育祭で全力を尽くす1年生(下)